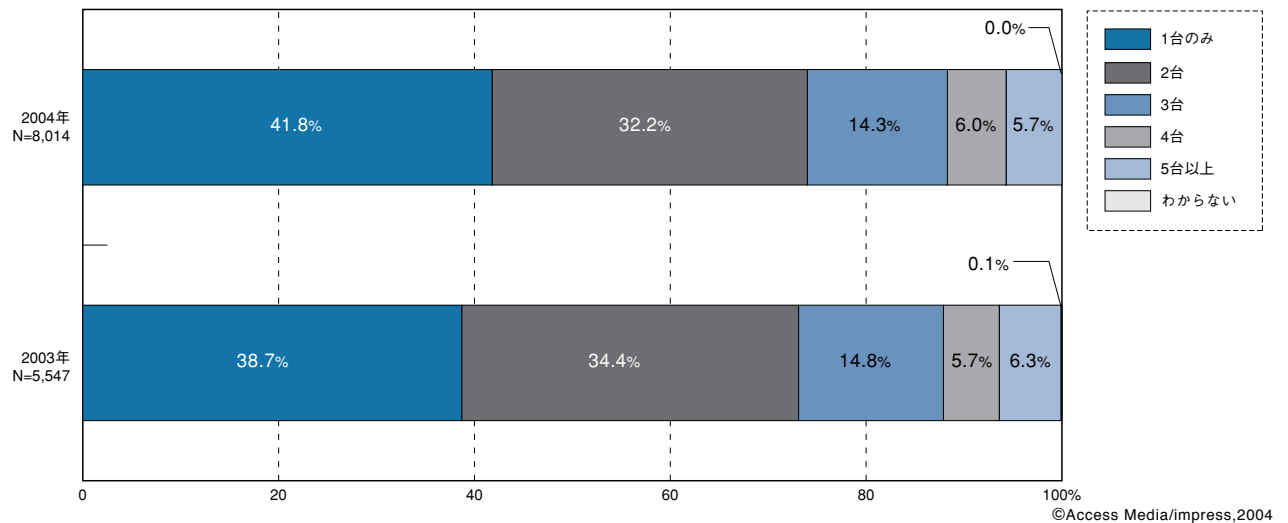


家庭内LAN

家庭内に複数台のパソコン所有者は6割

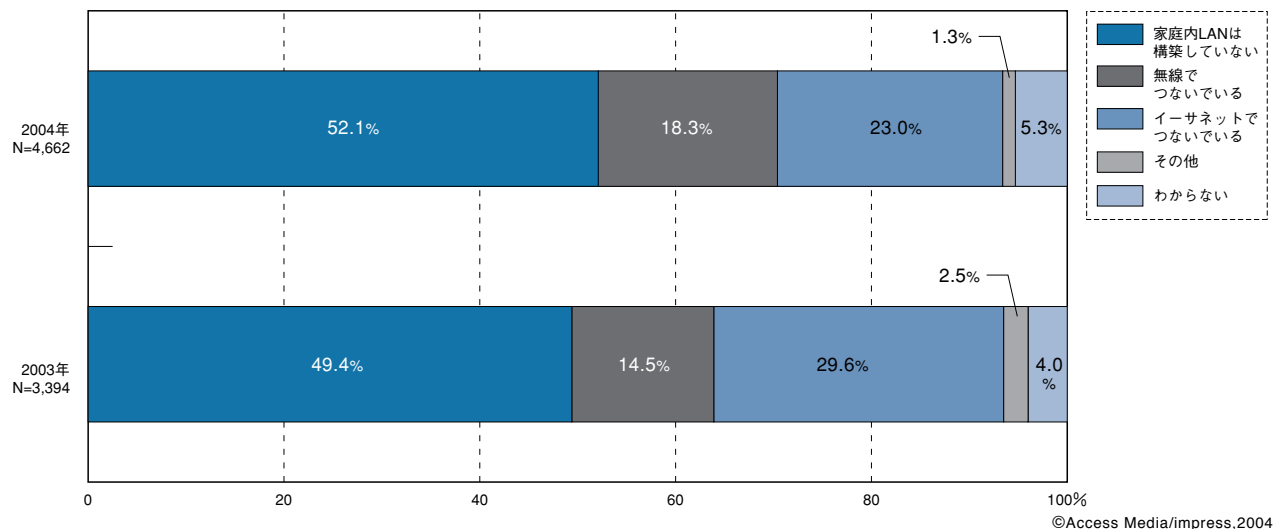
資料2-3-6 家庭におけるパソコン所有台数（2003年-2004年）



家庭内のパソコン所有状況は、41.8%が「1台のみ」の所有である。一方、2台以上を合わせると複数所有者が6割と多い。またインターネット接続状況で見ると、ブロードバンド接続利用者ではパソコン複数所有率が高く、ブロードバンドを導入したことで、家族の中でインターネットを始めたなどインターネット利用者数増加を牽引していることなども裏付けられている。

約4割のパソコン複数台所有者が家庭内LANを構築

資料2-3-7 複数台所有者の家庭内LAN構築有無（2003年-2004年）

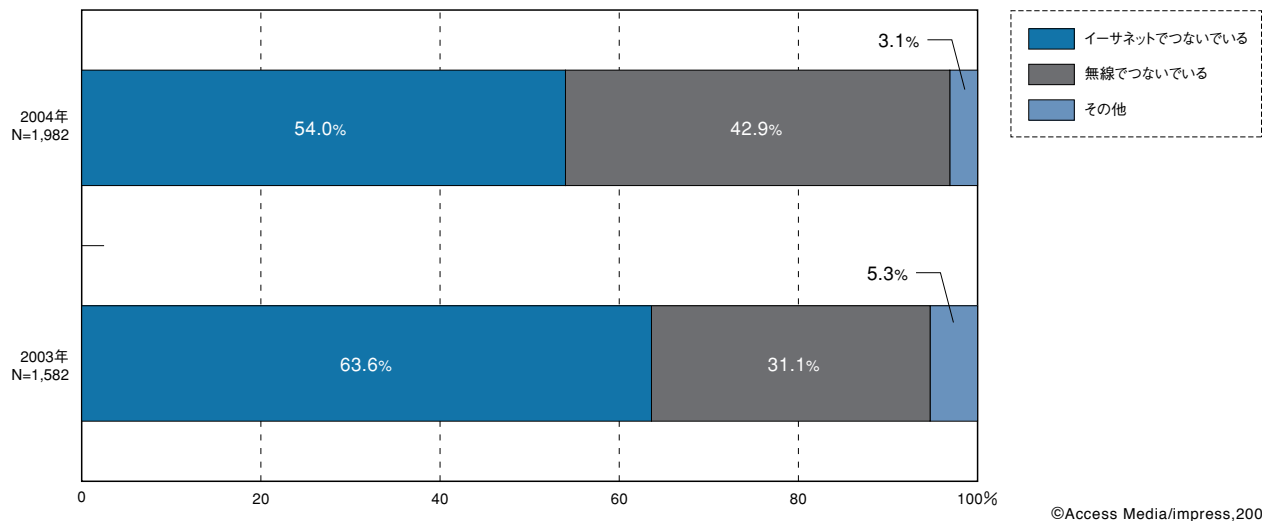


家庭内に複数台パソコンを所有している4,662サンプルに対して家庭内でのLAN構築有無を聞いた結果である。「構築していない」は、半数である。LAN構築状況を前年と比較すると、今年は、「無線LAN」接続率が伸び、「イーサネット」接続からシフトしてきている。

## 家庭内LAN

## 無線LAN構築率は42.9%と約1.8倍増

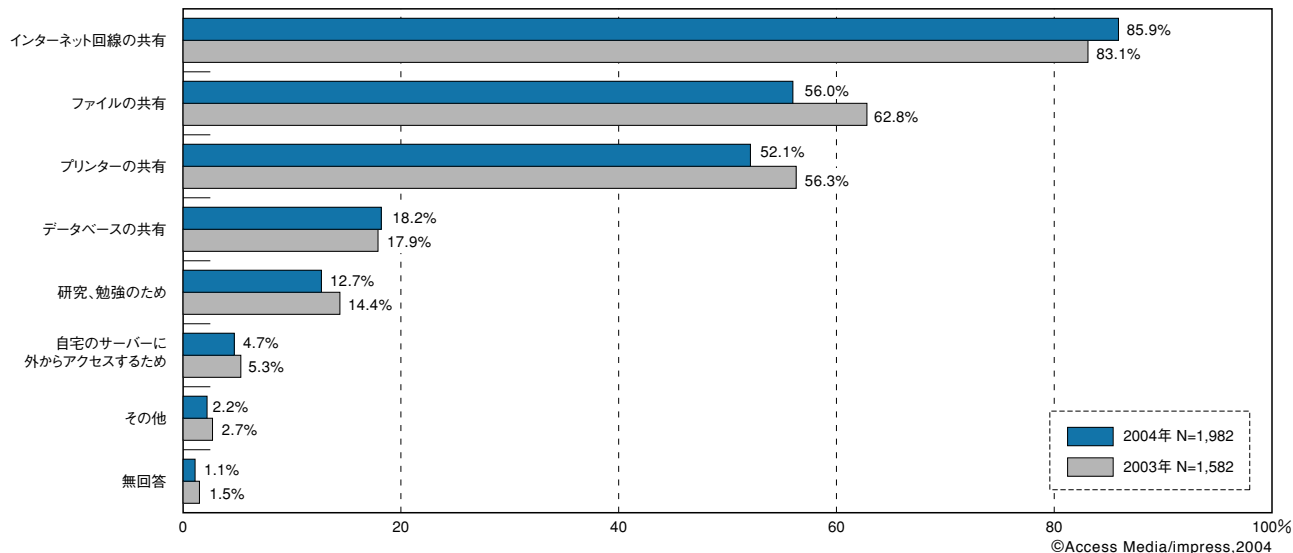
資料2-3-8 家庭内LANにおける無線LANとイーサネットの比率（2003年-2004年）



家庭内LANを構築している1,982サンプルのLAN構築状況を聞いた結果である。イーサネットと無線は1割以上の差はあるが、安価な無線LAN対応ルーターの普及や所有率が伸びているノートパソコンに無線LAN機能が標準搭載され始めていることなどを加味すると、今後も家庭内では無線LAN構築が増加すると推測される。「その他」は、イーサネットと無線の両方を利用しているケースなどが、少数ではあるが含まれる。

## 家庭内LANの構築目的のメインはインターネット回線の共有

資料2-3-9 家庭内LANの構築目的（2003年-2004年）



家庭内LANを構築している1,982サンプルの構築目的は、「インターネット回線の共有」が最も多く85.9%である。「ファイルの共有」、「プリンターの共有」は50%を超え、主要目的といえるが、昨年と比較するとその比率は減少しており、インターネット利用に対する目的意識が強いことが伺える。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)